



2021年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月11日

上場会社名 黒谷株式会社
 コード番号 3168 URL <http://www.kurotani.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒谷 純久

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 井上 亮一

TEL 0766-84-0001

定時株主総会開催予定日 2021年11月25日 配当支払開始予定日

2021年11月26日

有価証券報告書提出予定日 2021年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績(2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	62,058	45.2	3,197	394.3	2,096	273.3	1,353	257.9
2020年8月期	42,752	15.6	646		561		378	

(注) 包括利益 2021年8月期 1,329百万円 (225.3%) 2020年8月期 408百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	%	%	%
2021年8月期	95.42	16.7	10.4	5.2
2020年8月期	26.71	5.1	3.2	1.5

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 28百万円 2020年8月期 4百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	23,640	8,681	36.7	611.47
2020年8月期	16,735	7,546	45.1	532.52

(参考) 自己資本 2021年8月期 8,681百万円 2020年8月期 7,546百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	3,902	31	3,829	1,401
2020年8月期	1,500	97	1,318	1,433

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期		7.50		7.50	15.00	212	56.2	2.8
2021年8月期		7.50		7.50	15.00	212	15.7	2.4
2022年8月期(予想)		10.00		10.00	20.00		53.7	

3. 2022年8月期の連結業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	32,102	19.0	380	73.6	343	48.1	240	45.2	16.94
通期	63,164	1.8	823	74.2	755	64.0	528	60.9	37.26

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期	14,337,200 株	2020年8月期	14,337,200 株
期末自己株式数	2021年8月期	139,866 株	2020年8月期	165,990 株
期中平均株式数	2021年8月期	14,187,990 株	2020年8月期	14,163,059 株

(参考)個別業績の概要

2021年8月期の個別業績(2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	62,058	45.2	3,201	396.5	2,070	267.0	1,327	248.2
2020年8月期	42,752	15.6	644		564		381	

	1株当たり当期純利益
	円 銭
2021年8月期	93.54
2020年8月期	26.91

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年8月期	23,149		8,611		37.2		606.58	
2020年8月期	16,518		7,507		45.4		529.74	

(参考) 自己資本 2021年8月期 8,611百万円 2020年8月期 7,507百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により上記予想値と異なる場合があります。

業績予想の前提条件等については、【添付資料】「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
役員の異動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く外部環境は、前年度からの新型コロナウイルス感染がワクチン接種により効果は出ているものの、デルタ株等変異株の感染拡大もありパンデミックの収束にはもう暫く時間がかかりそうな状況となっております。しかしながら世界経済は、主要各国の大規模な経済政策により二極化の動きとなっているものの回復基調で推移いたしました。

このような状況から、当社グループの主力取扱製品価格に影響を及ぼす銅価格は、経済のグリーン化への動きや供給制約の影響により期初から上昇基調を維持し、5月にはロンドン金属取引所銅3か月先物価格で10,747.5ドルと2011年2月以来の史上最高値を更新しました。その後は、米国での量的緩和の縮小への思惑からやや調整的な動きとなりましたが、年度末比較では42.9%高の9,535ドルとなり、年度を通して市況環境は良好に推移いたしました。

また、販売数量もインゴットはやや減少したものの、スクラップが各製品とも堅調な需要から前年度比増加したこともあり、利鞘拡大と相まって利益面でも良好な結果となりました。一方で今年度は、引き続きコロナ禍の悪影響が危惧されたことや市況の上昇基調が維持されたことで低価格調達が可能となったことから価格変動リスクの回避及び利益の確保をはかるためロンドン金属取引所銅先物でヘッジを行ったことからデリバティブ運用損1,062百万円を営業外費用に計上いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は620億58百万円（前連結会計年度比45.2%増）、営業利益31億97百万円（同394.3%増）、経常利益20億96百万円（同273.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は13億53百万円（同257.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（非鉄金属事業）

非鉄金属事業の主力取扱製品に影響を与える年度平均ロンドン金属取引所銅円ベースCash価格が前年度比45.6%高く推移したことやインゴット、スクラップの販売量も前年度比3.4%増加したことから当連結会計年度の売上高は617億23百万円（前年度比45.4%増）となりました。

品目別では、インゴット売上高は172億26百万円（前連結会計年度比20.1%増）、スクラップ売上高は443億66百万円（同58.5%増）、その他売上高は1億30百万円（同20.2%増）となりました。

（美術工芸事業）

美術工芸事業は、コロナ禍からの底打ち感は見られるものの完全回復には至らず、当連結会計年度の売上高は3億34百万円（前連結会計年度比8.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は206億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ68億99百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、売上債権が45億81百万円、たな卸資産が21億98百万円増加したことによるものであります。固定資産は30億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加いたしました。

この結果、総資産は236億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ69億4百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は124億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ53億6百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、仕入債務が10億98百万円、短期借入金34億86百万円、未払法人税等が6億39百万円増加したことによるものであります。固定負債は25億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億62百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、長期借入金4億52百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は149億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億69百万円増加いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は86億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億34百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する当期純利益13億53百万円、剰余金の配当2億12百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.7%（前連結会計年度末は45.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は14億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は3億90百万円（前年は15億円の収入）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益20億96百万円、仕入債務の増加10億84百万円などの収入に対し、売上債権の増加45億60百万円、たな卸資産の増加21億98百万円などの支出が発生したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は31百万円（前年は97百万円の支出）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入13億16百万円に対し、定期預金の預入による支出10億63百万円、有形固定資産の取得1億84百万円などの支出が発生したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は38億29百万円（前年は13億18百万円の支出）となりました。これは主に短期借入金の純増額34億50百万円、長期借入金の借入20億円の収入に対し、長期借入金の返済14億7百万円、配当金の支払2億12百万円の支出が発生したことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期
自己資本比率 (%)	44.7	44.2	41.2	45.1	36.7
時価ベースの 自己資本比率 (%)	65.0	44.8	34.2	41.6	51.3
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	—	4.9	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	22.8	—

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

（注1）連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

（注3）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

（注4）キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

（注5）2017年8月期から2019年8月期までの各期及び2021年8月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、デルタ株など変異株の感染拡大によるコロナ禍の影響や先進国での金融緩和縮小の動きに伴う市場の不安定化リスク、また、コロナ後の経済構造、産業構造の変化による供給制約やサプライチェーンの混乱など多くの不安定要因が引き続き残ると思われま

す。しかしながら、先進主要国経済は政策効果やワクチン接種効果により回復過程に入ってきている一方で、新興国経済はワクチン接種率の低さや経済政策効果の乏しさから斑模様の状況ではありますが、世界経済全体では国や地域でのばらつきはあるもののコロナ危機前に向かって緩やかな改善の動きが続くと考えております。

ただし、今年度は経済のグリーン化の動きのなかで引き続き先進国中心に回復の動きを強めるものの、市況環境に関しては量的緩和縮小、過剰流動性減少による影響を考慮しております。

以上のことから業績の見通しの前提条件は下記を想定しております。

- a. 為替レート (TTM) : 108円
- b. 銅価格 : 9,000ドル
- c. ニッケル価格 : 18,000ドル
- d. 銅建値 : 1,021.00円/kg

以上の見通しを踏まえ、翌連結会計年度(2022年8月期)の連結業績見通しにつきましては、連結売上高は631億64百万円(前連結会計年度比1.8%増)、営業利益は8億23百万円(同74.2%減)、経常利益は7億55百万円(同64.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億28百万円(同60.9%減)を予想しております。

当該予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化等により業績予想と乖離する結果になりうることをご承知おきください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、会計基準につきましては日本基準を適用する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,090,271	1,806,016
受取手形及び売掛金	4,413,758	8,570,785
電子記録債権	822,771	1,247,148
商品及び製品	720,335	1,837,079
仕掛品	112,545	244,107
原材料及び貯蔵品	3,949,709	4,899,945
前渡金	788,068	1,150,816
未収消費税等	739,145	694,993
その他	83,171	168,194
流動資産合計	13,719,777	20,619,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	382,307	344,027
機械装置及び運搬具(純額)	361,312	314,015
土地	1,521,121	1,521,121
その他(純額)	86,845	103,676
有形固定資産合計	2,351,587	2,282,840
無形固定資産		
ソフトウェア	10,476	30,245
その他	1,787	2,392
無形固定資産合計	12,264	32,638
投資その他の資産		
投資有価証券	566,824	576,611
繰延税金資産	73,637	117,624
その他	11,823	11,735
投資その他の資産合計	652,285	705,971
固定資産合計	3,016,137	3,021,451
資産合計	16,735,915	23,640,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	739,430	1,897,282
電子記録債務	316,234	256,712
短期借入金	4,292,880	7,779,200
1年内返済予定の長期借入金	1,175,012	1,314,976
未払金	364,397	311,013
未払法人税等	125,765	765,424
賞与引当金	33,403	56,739
その他	96,275	69,048
流動負債合計	7,143,398	12,450,396
固定負債		
長期借入金	1,935,926	2,388,020
退職給付に係る負債	110,096	120,853
固定負債合計	2,046,022	2,508,873
負債合計	9,189,421	14,959,269
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	685,396	690,564
利益剰余金	5,846,661	6,987,654
自己株式	△78,329	△65,797
株主資本合計	7,453,728	8,612,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,386	△4,958
為替換算調整勘定	70,378	73,806
その他の包括利益累計額合計	92,765	68,847
純資産合計	7,546,494	8,681,269
負債純資産合計	16,735,915	23,640,539

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	42,752,780	62,058,249
売上原価	40,831,344	57,481,454
売上総利益	1,921,436	4,576,794
販売費及び一般管理費	1,274,611	1,379,432
営業利益	646,824	3,197,362
営業外収益		
受取利息	846	53
受取配当金	10,004	8,860
為替差益		7,985
持分法による投資利益	—	28,988
受取保険金	2,018	281
その他	6,578	4,965
営業外収益合計	19,447	51,134
営業外費用		
支払利息	65,480	74,093
為替差損	17,591	—
持分法による投資損失	4,851	—
デリバティブ運用損	11,038	1,062,514
その他	5,766	15,809
営業外費用合計	104,728	1,152,417
経常利益	561,543	2,096,079
税金等調整前当期純利益	561,543	2,096,079
法人税、住民税及び事業税	106,105	785,873
法人税等調整額	77,134	△43,554
法人税等合計	183,240	742,318
当期純利益	378,302	1,353,761
親会社株主に帰属する当期純利益	378,302	1,353,761

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	378,302	1,353,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,248	△27,345
為替換算調整勘定	△120	6,256
持分法適用会社に対する持分相当額	△580	△2,829
その他の包括利益合計	30,547	△23,917
包括利益	408,850	1,329,843
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	408,850	1,329,843
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	685,821	5,680,763	△88,616	7,277,967
当期変動額					
剰余金の配当			△212,404		△212,404
親会社株主に帰属する 当期純利益			378,302		378,302
自己株式の処分		△424		10,287	9,862
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△424	165,897	10,287	175,760
当期末残高	1,000,000	685,396	5,846,661	△78,329	7,453,728

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△8,861	71,079	62,217	7,340,185
当期変動額				
剰余金の配当				△212,404
親会社株主に帰属する 当期純利益				378,302
自己株式の処分				9,862
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	31,248	△700	30,547	30,547
当期変動額合計	31,248	△700	30,547	206,308
当期末残高	22,386	70,378	92,765	7,546,494

当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	685,396	5,846,661	△78,329	7,453,728
当期変動額					
剰余金の配当			△212,768		△212,768
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,353,761		1,353,761
自己株式の取得				△68	△68
自己株式の処分		5,168		12,600	17,768
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	5,168	1,140,993	12,532	1,158,693
当期末残高	1,000,000	690,564	6,987,654	△65,797	8,612,421

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	22,386	70,378	92,765	7,546,494
当期変動額				
剰余金の配当				△212,768
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,353,761
自己株式の取得				△68
自己株式の処分				17,768
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△27,345	3,427	△23,917	△23,917
当期変動額合計	△27,345	3,427	△23,917	1,134,775
当期末残高	△4,958	73,806	68,847	8,681,269

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	561,543	2,096,079
減価償却費	226,535	183,534
受取利息及び受取配当金	△10,850	△8,914
支払利息	65,480	74,093
為替差損益(△は益)	516	24,600
持分法による投資損益(△は益)	4,851	△28,988
売上債権の増減額(△は増加)	428,869	△4,560,476
たな卸資産の増減額(△は増加)	734,533	△2,198,541
仕入債務の増減額(△は減少)	△473,987	1,084,866
前渡金の増減額(△は増加)	△261,832	△362,747
その他	289,316	14,198
小計	1,564,976	△3,682,294
利息及び配当金の受取額	11,664	8,933
利息の支払額	△65,704	△77,116
法人税等の支払額	△10,823	△152,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,500,112	△3,902,776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,064,114	△1,063,915
定期預金の払戻による収入	1,064,072	1,316,214
関係会社貸付金の回収による収入	53,700	—
有形固定資産の取得による支出	△137,543	△184,844
無形固定資産の取得による支出	△3,580	△24,653
投資有価証券の取得による支出	△8,531	△11,405
その他	△1,846	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97,844	31,340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,156,780	3,450,000
長期借入れによる収入	1,400,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,349,976	△1,407,942
自己株式の取得による支出	—	△68
配当金の支払額	△211,852	△212,946
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,318,608	3,829,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,070	10,409
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74,589	△31,984
現金及び現金同等物の期首残高	1,358,684	1,433,274
現金及び現金同等物の期末残高	1,433,274	1,401,290

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、インゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業と美術工芸品の製造・販売を行う美術工芸事業の2つの事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,444,014	308,766	42,752,780	—	42,752,780
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	295	295	△295	—
計	42,444,014	309,061	42,753,075	△295	42,752,780
セグメント利益又は損失(△)	654,235	△7,410	646,824	—	646,824
セグメント資産	12,733,613	971,068	13,704,681	3,031,234	16,735,915
その他の項目					
減価償却費	210,556	15,979	226,535	—	226,535
持分法適用会社への投資額	191,617	—	191,617	—	191,617
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	319,758	1,646	321,405	—	321,405

(注) 1. セグメント資産の調整額3,031,234千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,723,713	334,535	62,058,249	—	62,058,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	529	529	△529	—
計	61,723,713	335,064	62,058,778	△529	62,058,249
セグメント利益又は損失(△)	3,219,897	△22,535	3,197,362	—	3,197,362
セグメント資産	19,654,682	1,042,355	20,697,038	2,943,500	23,640,539
その他の項目					
減価償却費	169,530	14,004	183,534	—	183,534
持分法適用会社への投資額	217,776	—	217,776	—	217,776
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	124,519	15,513	140,032	—	140,032

(注) 1. セグメント資産の調整額2,943,500千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

関連情報

前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	インゴット	スクラップ	美術工芸品	その他	合計
外部顧客への売上高	14,339,134	27,996,289	308,766	108,589	42,752,780

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	韓国	その他アジア	ヨーロッパ	その他	合計
33,889,444	3,314,863	4,843,084	617,868	87,519	42,752,780

(注) 売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
住友金属鉱山株式会社	8,405,005	非鉄金属事業
J X金属株式会社	4,275,967	非鉄金属事業

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 千円)

	インゴット	スクラップ	美術工芸品	その他	合計
外部顧客への売上高	17,226,525	44,366,671	334,535	130,516	62,058,249

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位: 千円)

日本	韓国	その他アジア	ヨーロッパ	その他	合計
52,435,697	4,058,878	4,436,986	974,673	152,013	62,058,249

(注) 売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
住友金属鉱山株式会社	14,164,512	非鉄金属事業

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	532.52円	611.47円
1株当たり当期純利益	26.71円	95.42円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,546,494	8,681,269
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	7,546,494	8,681,269
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	14,171,210	14,197,334

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	378,302	1,353,761
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	378,302	1,353,761
普通株式の期中平均株式数(株)	14,163,059	14,187,990

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

代表取締役会長 黒谷 純久 (現 代表取締役社長)

代表取締役社長 黒谷 暁 (現 代表取締役専務)

② その他役員の変動

(1) 監査等委員会設置会社への移行に伴う役員の変動

当社は、2021年11月25日開催予定の第36回定時株主総会の承認を条件として、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行する予定であります。詳細は、2021年10月11日に公表いたしました「監査等委員会設置会社への移行および役員人事に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) その他

該当事項はありません。